

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	2046	(H.26)No.	2046
-----------	------	-----------	------

事務事業名	福祉手当給付事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	福永 ひとみ	

会計区分	事業コード	168009
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	民生費	障害者福祉費
項	社会福祉費	(小事業名)
目	障害者福祉費	福祉手当給付事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	2	生活環境・健康づくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	障害者福祉の向上
事業内容	<p>○国の特別障害者手当 重度の障害がある障害児に障害児福祉手当を、又著しく重度の障害がある者に特別障害者手当を支給する。</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	特別障害者手当 :26,080円/月×延べ624人 障害児福祉手当 :14,180円/月×延べ435人 経過的福祉手当 :14,180円/月×延べ7人 給付費:26,892千円 国費返還金:68千円	特別障害者手当 :26,000円/月×65人 障害児福祉手当 :14,140円/月×45人 経過的福祉手当 :14,140円/月×1人	特別障害者手当 :26,000円/月×65人 障害児福祉手当 :14,140円/月×45人 経過的福祉手当 :14,140円/月×1人	特別障害者手当 :26,000円/月×65人 障害児福祉手当 :14,140円/月×45人 経過的福祉手当 :14,140円/月×1人	特別障害者手当 :26,000円/月×65人 障害児福祉手当 :14,140円/月×45人 経過的福祉手当 :14,140円/月×1人	特別障害者手当 :26,000円/月×65人 障害児福祉手当 :14,140円/月×45人 経過的福祉手当 :14,140円/月×1人

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	26,959千円	28,086千円	28,086千円	28,086千円	28,086千円
内訳(千円)					
国・県支出金	20,475	21,064	21,064	21,064	21,064
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 6,484	7,022	7,022	7,022	7,022
人工数					
職員	0.56人	0.56人	0.56人	0.56人	0.56人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円
①+②総事業費	(0千円) 31,159千円	32,286千円	32,286千円	32,286千円	32,286千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
※「考察」及び「今後の対応方針」の記載対象外の事務事業	

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	障害者福祉の向上
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
障害者総合支援法に基づき、重度の障害者に対して、障害者福祉の増進を図るための国の事業である。	名張市障害者福祉計画、名張市障害福祉計画